

整理収納アドバイザーからの手紙 ⑩

神村 さゆり 「暮らし研究所How住まい」主宰
整理収納アドバイザー 一級・一級建築士

ホームファイリングのすすめ

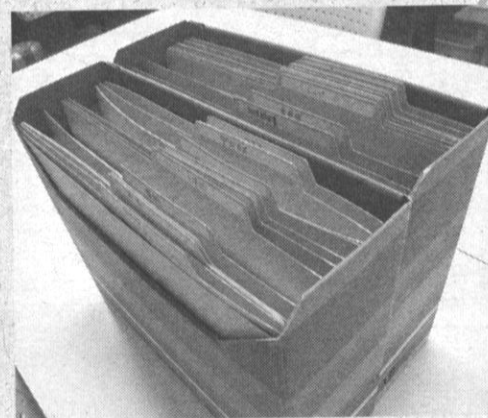
「ファイリング」というとビジネス関連のことのように思われがちですが、実は見事に家庭に当てはまります。よく見ると家庭の中にはあらゆる書類があふれています。家電の説明書、ダイレクトメール、公共料金の領収書、学校や地域からのお知らせ、新聞、雑誌など。いつしか紙の束は増え続け、身の回りを覆ってしまいます。今回はそういった書類の整理について考えてみましょう。家庭用の書類の整理術は「ホームファイリング」と呼ばれ、整理収納アドバイザーでファイリングデザイナーの小野裕子さんが提唱されています。

難しそうに聞こえるかもしれませんが、基本的な考え方は今までと同じ。必要／不必要に

書類の整理

分けることから始まります。ただし書類には「鮮度」が加わります。例えばテレビ欄を見るのが目的の新聞でしたら賞味期限は1日。翌日には腐ってしまうという理屈です。そして賞味期限がまだ先の書類をフォルダーという紙挟みの中に挟んで入れるだけ。このフォルダーは項目別に作っておき、ひとつのフォルダーにはその項目の書類しか入れないようにします。またフォルダーはカテゴリーに応じて組み替えもできます。カテゴリーを決めたらファイルボックスに収納します。

そして必要でなくなった書類は即廃棄します。綴ることなく、挟むだけなので、廃棄するのもラクなのです。今までも整理収納におい



て重要なのは「分ける」「捨てる」ということを伝えてきました。ホームファイリングはこのことに力を発揮します。

私は家庭内の書類の整理について、いろいろな方法を個人的に試してみたのですが、この方法が最も使いやすいと感じました。

欧米では家事をハウスキーパーに依頼するため、モノは決まったところにある、という暗黙のルールがあるそうです。なるほど、そうすればハウスキーパーが変わるたびにその家のルールを説明する手間が省けますね。家庭の事情はそれぞれですが、その家のルールを明確にすることは、家事分担をひとりに集中させないようするためにも必要ですね。

暮らし研究所からのお知らせ

沖縄で初の整理収納アドバイザー1級の予備講座が9月27日(火)～28日(水)に行われます。試験は11月4日(金)です。受講資格は整理収納アドバイザー2級取得者であること。今なら8月21日(日)の2級認定講座を受講することで受験資格が得られます。暮らし研究所では、整理収納に関するプチセミナーを毎月開催しております。次回の開催は8月20日(土) 2,500円、お子様連れ可(500円追加)お茶菓子付きです。

住所、氏名、電話番号を明記の上、FAX(098-897-1722)またはインターネット
<http://www.kurashi-ken.net/>よりお申し込みください。
お問い合わせ：暮らし研究所 神村さゆり 電話090-1364-5377